

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習 I		
担当者(Instructors)	原 京二	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

メディアは、人々のライフスタイルの変化、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進や、技術革新、生成AIの登場などにより年々変化を続けています。私たちの日常には様々なメディアからの情報が日々発信され、情報空間には正しい情報からフェイクニュースまで様々な情報が溢れています。この情報空間には、情報の優劣以上に、人々の注目や関心が経済的な価値を持つアテンションエコノミーという概念も広がっています。私たちはメディアをどのように理解し、情報を受け取り、発信していけばよいのかを、この授業では考え学びます。メディアに対して持っている私たちの常識を疑い、正しいメディアへの認識と、今後の課題を理解できることが、この授業の目的です。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式でグループワークを中心に行います。グループワークとして、グループで取り組む課題の設定、プレゼンテーション準備等があります。そのため、ノート型のPC等のツールを持参することが望ましいです。また、グループワークに必要な知識や情報については講義や映像視聴等で習得するものとします。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	講師の自己紹介、演習の目的と到達目標、成績評価基準等の説明	<input type="checkbox"/>
第2回	私のメディア史	自分とメディアとのこれまでの接点を確認してグループで討議して発表	<input type="checkbox"/>
第3回	メディアを学ぶ	テレビメディアの現状と課題（企業編）	<input type="checkbox"/>
第4回	メディアを学ぶ	テレビメディアの現状と課題（ジャーナリズム編）	<input type="checkbox"/>
第5回	メディアを学ぶ	新聞・広告代理店・出版メディアの現状と課題	<input type="checkbox"/>
第6回	メディアを学ぶ	地域メディア（CATV、コミュニティFM等）とネットメディアの現状と課題	<input type="checkbox"/>
第7回	グループワーク	グループ編成をして研究するメディアについてディスカッション	<input type="checkbox"/>
第8回	グループワーク	グループごとに研究するメディアについてディスカッション	<input type="checkbox"/>
第9回	リサーチとプレゼンテーションについて学ぶ	リサーチ方法、資料の引用方法、プレゼン方法を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第10回	インタビューの技法	他己紹介からインタビューの大切さを学ぶ	<input type="checkbox"/>
第11回	インタビューの技法	インタビュー相手へのアポイントの取り方、インタビューの基本ルールを学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	グループワーク	研究するメディアのリサーチと文献調査、まとめ	<input type="checkbox"/>
第13回	グループワーク	研究するメディアのリサーチと文献調査、まとめ	<input type="checkbox"/>
第14回	グループ発表	グループで研究内容を発表する	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	前期の振り返りと後期に向けた課題の確認	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

<事前学習> メディアの動向を理解するために、事前に、日頃から新聞やテレビ、インターネットなど様々なメディアを活用して、事前に2時間程度は時事ニュースに触れておくこと。また、パネル討論については、事前に指定した課題レポートを持参し参加のこと。<事後学習> 定期的に演習のテーマに沿った小レポートを課すことがあるので、演習について各自で2時間程度の復習を行い、身の回りのメディアの意味や構造について常に意識をすること。また、演習内で紹介した文献には演習後も目を通して理解を深めること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

質問等があればTeamsでのフィードバックのほか、授業時間内での質問、事前にアポイントをとり、オフィスアワー時に研究室での面談も可

能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	演習テーマの課題についてグループワーク等を通して的確な問いをたてる。そして、問いに対する自分の考えを表現できる。
主体性	◇ 2021地域ビジネスDP3	地域メディアが発信する情報の重要性について理解を深め、自ら正しい情報発信ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

グループワークにおける積極性、貢献性、意見表明、プレゼンテーション等から総合的に判断します。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内で紹介します。	
2		
3		
4		
5		